

ふるさと便り

―「上越タイムス」の記事より―

直江兼統役に妻夫木さん(二月)

来年のNHK大河ドラマ「天地人」の主役直江兼統に妻夫木聡(つまぶき・さとし)さんに決定。「天地人」は上杉謙信公の薫陶を受け、謙信の養子・景勝を支えた直江兼統の生涯を描いております。

兼統は上杉家の執政として、会津転封まで春日山で過ごした。妻夫木さんは「兼統は信義を貫き愛に生きた人。収録前に一度新潟に行き、少しでも兼統に近づきたい」と意気込みを語った。木浦上越市長も「妻夫木さんは優しさとしんに秘め



た強さを併せ持つ素晴らしい俳優、謙信の『義の心』、兼統の『愛の心』を強力に発信し、ゆかりの地・上越市を大いにアピールして頂きたい」と談話しております。

県の草花に「雪割草」指定(三月)

新潟県は「雪割草」を新潟県の草花に指定した。これまでの県の花「チューリップ」、木「雪椿」、鳥「朱鷺」に新しいシンボル「雪割草」が加わった。雪割草は上越地域でも愛着

のある草花。合併前の大島村が村の花に指定していた歴史もあり、現在は「市が推奨する花」十種のの一つに



なっております。

「直江兼統」本刊行 花ヶ前盛明さん(三月)

Jネット文化講演会講師の居多神社宮司で戦国史家の花ヶ前さんが「直江兼統」を刊行した。樋口家長男「兼統」の誕生、謙信の養子「景勝」の側近として御館の乱の勝利に貢献。名家直江家を継ぎ、関ヶ原合戦での徳川家康との対立と敗戦後に上杉家存続へ奔走したしょうがいを読みやすくまとめている。写真や地図、系図などもふんだんに掲載。



卒業式にガクトさんが登場(三月)

高田高校の卒業式が上越文化会館で行われ、「風林火山」の謙信役で注目を集めたガクトさんがサプライズゲストで登場。卒業生にはなむけの言葉と音楽を贈った。何も知らない卒業生を始め会場が興奮の渦に包まれ、厳粛ムードが一変した中、「運は天にあり、鎧は胸にあり、手柄は足にあり」と続けた後「己の力で夢をつか

むのじゃ。皆のものいざ出陣じゃ」と力強いメッセージ。校長先生の粋な計らいと



ほくほく線開業十周年記念誌(四月)

東頸城の山間部を走るほくほく線(犀潟・六日町間)は平成九年に開業。昨年十周年を迎えた。記念誌は沿線ガイド、開業前、開業後、組織の変遷等ほくほく線の全てを網羅しております。残念ながら非売品で沿線の学校や図書館に寄贈されています。



妙高山麓の森は癒しの効果(四月)

妙高市の豊かな自然環境が「森林セラピー基地」として認定を受けた。森林セラピー基地は森林による感覚的な癒し効果を科学的・医学的根拠にも基づき実証、更に関連する宿泊施設などの整備状況、

交通アクセス、将来的な構想なども加味され総合的な評価で認定される。認定施設名は「生命地域・妙高薬湯膳の郷」イモリ池の妙高高原ヒジターセンターを中心とした周辺の国立公園を基地として、周辺の自然歩道、笹が峰一周歩道、夢見平遊歩道、赤池周辺トレイル、斐太歴史の郷、平丸ふれあいの森自然散策コースの六本をロードしている。



柿崎区楞厳寺で引つ越し(四月)

楞厳寺(りようこんじ)は昨年中越沖地震で本堂が傾く被害を受けた。このため基礎を全面的にコンクリートで固め軸組みを強化する修復工事が行われる。本尊釈迦三尊像や鎌倉期の大日如来像など多数の諸仏や備品の引つ越しが行われた。同寺は戦国の

武将、柿崎景家が謙信の師天室光育を招いて開いた由緒深い寺院。本堂は約三百年前の建立。



育てたサケの稚魚放流(四月)

「元気でかえってきて」と和田小学校では、恒例となつて育てたサケの稚魚を矢代川に放流した。最近矢代川にもサケの遡上が見られるという。和田小のサケか。



米山山麓ロードレース(四月)

かきざきドーム前をスタート地点に、小学一年から八十三才までの各世代男女が目標のコースを走る米山山麓ロードレースが開催された。二十四部門に九百四人が参加。高低差二百七十メートルのハーフコースには二百四十四人が挑戦。



陀羅尼大仏が再び黄金の輝き(四月)

都市計画に伴い、大仏様と昨年北本町から大貫に引つ越した曹洞宗・国厳(ごこん)寺の本堂・大仏殿が落成した。高

さ六メートルの陀羅尼様は解体・修復組み立てが行われ黄金の輝きを取り戻された。



百万人の観桜会が閉幕(四月)

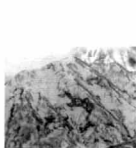
高田公園を中心会場に開かれた高田城百万人観桜会は百万七千人の参加を達成した。「小木おけさ」の披露、万燈みこし、忠霊塔前ではロウソクによるライトアップも実施され観桜会の最後を盛り上げた。観桜会大成功でした。

妙高山にはね馬くつきり(四月)

妙高さんのシンボル「はね馬」の雪形は昔から春の農作業を始める合図として、又春を告げる使者として親しまれている。



雪形は方向や距離によつて見え方も様々、視線を右にずらしていくと「かけ馬」も出現してくる。



東京農大が実践農場(四月)

東京農大は「株式会社じょうえつつ東京農大」を設立。社長の上越出身の藤本彰三東京農大教授は「実践農場として有機農業の全国発信と大学の社会貢献」を設立目的に掲げている。清浄な用水と生態系など「農業の最適地」と考え、当面水

稲四・三七ヘクタールと多品目野菜を作る畑を中心に桑取地区と谷浜地区の約一〇ヘクタールの農地で経営する。



直江津空襲知ってますか(五月)

直江津空襲と平和を考える会は被爆の

追悼会を黒井公園で行った。六十三年前の昭和二十年五月五日、米軍機が空爆を敢行、死者七人を出した。悲劇を生む戦争を再び起こさないようにと祈りを込めての追悼です。



鮫ヶ尾城趾と吹上・釜蓋遺跡が「国史跡」指定へ答申（五月）

妙高市の鮫ヶ尾城趾、上越市稲荷の吹上遺跡と大和の釜蓋遺跡が国の文化審議会で国史跡に指定するよう答申された。七月に公示の予定。吹上遺跡は青田川扇状地に位置し、弥生時代中期から古墳時代前期の長期間に亘っている。勾玉（まがたま）などの玉作りが大規模に行われた工房が発見されている。釜蓋遺跡は新幹線予定地近くで発見された弥生時代末期から古墳時代初期の集



落、防衛、水運に使われたと見られる太鼓母名環塚が発見されており、平地の環塚集落では日本海最北に位置している。

「青田川を愛する会」環境大臣賞を受賞（五月）

青田川を愛する会は、環境省が自然環境の保全などに顕著な功績があった団体などに贈る平成二十年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰・自然触れあい部門」を授賞した。町内会や小学校などと共にクリーン活動や水質調査、植樹を青田川で実施、河川の美化運動に努めています。「何とかが舞い、サケが上る川にしたがい」

六月には、大手町小学校四年生が青田川の青田新橋付近で水遊びに興じました。子魚、カニなどを捕獲して大はしゃぎだったとか。



美しき鳴き声を求めて（五月）

安塚自然友の会と上越理科教育センターによる野鳥観測会が直峰城趾周辺で開か

れた。夏鳥は日本に来て、ひなを育てる時期、オスが良い声で囀ります。「サツポロラーメンミソラーメン」（ほおじろ）や「トッキョキョカキョク」（ほととぎす）と鳴きます。



海洋調査船「なつしま」が奇港（五月）

直江津沖の水深九〇メートルの海底に眠る次世代資源「メタンハイドレート」の調査にあたっている。海洋調査船「なつしま」が直江津港に寄港、最新のレーダーを装備した操縦室、無人海底探査機「ハイパードルフィン」など一般公開された。



に敗れ、一族の一派は春日山山麓の浄国寺を頼って移住。その後妙高山麓の毛祝坂で新田開発に従事したという。浄国寺を訪れたのは「石田三成会」の六人と石田家十五代の秀雄さん。三成は直江兼統と交流があったという。残念ながら、石田家の過去帳など歴史的な資料は大正の大火で残っていないかった。



大河ドラマ「天地人」配役決まる（六月）
妻夫木聡さんが主人公直江兼統役と決まっていたが、更に謙信・阿部寛さん、景勝・北村一輝さん、兼統の妻お船・常盤貴子さんに決まった。来年が楽しみです。



石田三成の子孫 上越を訪問（六月）

戦国の武将・石田三成は関ヶ原の戦い

平成の名水百選に大出口泉水(六月)

柿崎区の湧水「大出口泉水」が、おとなり妙高市の「宇棚の清水」と一緒に、平成の名水百選に選ばれた。大出口泉水は尾神岳の伏流水を一日四百トンも噴き出し、美味しいお米を育む濁水のない泉です。



「うちのこ探検隊」(六月)

お隣の糸魚川市では、伝説の生きものを捕まえ一億円の賞金をゲットしよう、「うちのこ探検隊」一〇〇人がシヤルマン火打スキー場西側の方山山麓一体を今年こそはと探し求めた。残念ながらゲットならずとのこと。



金谷山で水晶探し(六月)

上越市科学館主催の「地層観察教室」が開かれ、約千年前の最近出来た地層から太古の地層まで見学した。高田西小学校付近の水田で地層が二重になった様子や、ヨードル金谷裏の露頭で「平山層」を観察した。金谷山では海底が隆起した「能生谷層」、防空壕を見学、金谷山では凝灰岩から「水晶探し」を体験した。



上越市ゆかりの詩人、高野喜久雄さんを偲ぶ「蓮の花コンサート」(六月三日)

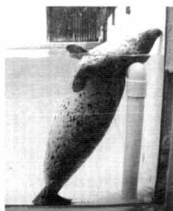
上越文化会館で開かれます。その中で高野さん作詞の合唱組曲「水のいのち」が歌われる。佐渡出身で高田農業高校の教壇に十四年間立っていた。当時の円周率のけた数で世界記録を樹立した数学者でもありました。地元有志メンバーによる練習に力が入ります。



上越市立水族博物館(六月)

水族博物館のホームページに「水族館日記」が加わりました。日々の出来事や普段人目に触れないシーンを紹介しております。水槽のパイプに頭を乗せて寝ているゴマフアザラシのジロー。岩陰を好み、隙間を出たり入ったりするユーモラスな顔のコブダイ。

週一〜二回の更新。HPは「上越市立水族博物館」で検索して下さい。



居多神社 新社殿完成(六月)

五智の居多神社の新社殿が完成し、御神体を仮宮から新神殿に移す遷座祭が古式にのっとり行われた。御神体は唐櫃(からひつ)におさめられ、笛・太鼓や守護する弓矢・刀、御神体が通ることを知らせる警蹕(けいはい)などからなる行列、「遷御の列次」の中で新社殿に向かった。かがり火に照らされた境内には大勢の人が見守った。



高野喜久雄さんを偲ぶコンサート(六月)

大島区にニホンカモシカ出現(六月) 大島区の国道253号沿いにある農林産物直売所「青空市場」の対岸に春以降、ニホンカモシカが度々現れ観光客を楽しませています。対岸の九〇度近い絶壁をいとも簡単に走り降りて川岸で遊

